

① 制度の概要

新たな商店街づくりに加え、地域ブランド構築の継続や維持に取り組む商店街の基礎づくりをサポートする制度です。専門家を派遣して課題抽出を行い、個別対応支援を実施します。

グランドデザイン策定から実行支援まで一気通貫で**3年間の伴走支援**を行い、初年度に3年後のあるべき姿を明確化します。計画策定後は実行フェーズに移行し、年度ごとにサポート会議で評価と助言を受けながら、中長期的な視点で商店街の活性化を目指します。

② 支援内容

□ ブランド化調査・実行支援

専門家派遣による課題抽出と地域ブランド構築

最大300万円

補助率：3/5以内

□ 3年間伴走支援（調査事業）

3年後のあるべき姿と中期計画の策定

最大100万円

補助率：1/2以内

□ 3年間伴走支援（計画実行事業）

1年目：最大1,500万円、2・3年目：最大5,000万円

最大5,000万円

補助率：1/2以内

③ 対象となる取組

【ブランド化調査・実行支援】

- 専門家による商店街の課題抽出支援
- 地域ブランド構築のための調査実施
- 課題抽出後の具体的な取組実行

【3年間の伴走支援】

- 3年後の商店街像を描く中期計画策定
- 伴走アドバイザーによる計画実行支援
- 年度ごとの評価会議での助言獲得

④ 対象者

- 商店街（複数の商店街による申請も可）
- 商店街組合員が過半出資する中小企業
- 組合員が社員の過半を占めるNPO法人
- 地域活性化を担うと区市町村が認める団体

⑤ 採択率向上のポイント

- **3年後のビジョン明確化**：具体的な数値目標と達成イメージを詳細に提示
- **地域ブランドの独自性**：他の商店街にない**地域固有の資源**や特色を活用
- **継続性の担保**：3年間で段階的に発展する実現可能な計画を策定
- **地域連携の具体化**：町会・自治会・NPO等との協力体制を明示

⑥ 戰略的分析

【3年間伴走型の特徴を活かす】

- 本事業は**単年度の一過性支援ではなく**、3年間の継続支援が最大の特徴
- 初年度に中期計画を策定し、2年目以降は**最大5,000万円**の大型支援を受給
- 段階的な成長ストーリーを描くことで、審査における評価が高まる

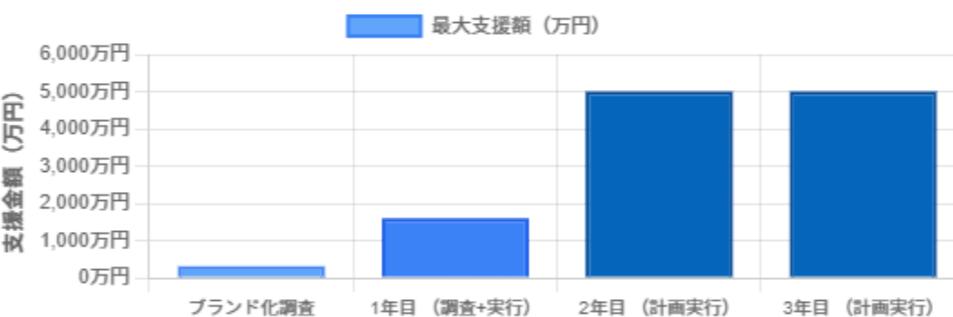
【専門家活用の戦略的重要性】

- 課題抽出サポートでは専門家が派遣されるが、申請段階から**経営コンサルタント**と連携
- 地域の強み・弱みを客観的に分析し、地域ブランド構築の差別化戦略が重要

【区市町村との連携強化】

- 申請先は各区市町村であり、地域の商業政策との**整合性が重視**
- 事前に自治体の商工担当部署と十分な協議を行い、地域振興計画に沿った提案を実施

⑦ 3年間の支援金額の推移



段階的な支援拡大：1年目は計画策定に注力し、2年目以降は大型の実行支援が可能
最大支援額：3年間合計で最大**1億650万円**の支援を受けられる制度設計

⑧ 専門家活用のススメ

- **課題分析の客観性確保**：外部専門家による現状分析で盲点を発見
- **計画策定の実現可能性向上**：実績豊富なコンサルタントによる計画立案支援
- **補助金申請書類の品質向上**：採択実績のある専門家による書類作成サポート
- **伴走支援での継続的助言**：3年間を通じた専門家との定期的な進捗確認

⑨ 必要書類とチェックポイント

提出書類	チェックポイント
補助金交付申請書	<ul style="list-style-type: none"> □ 商店街の組織形態を明確に記載 □ 連名申請の場合は全団体の同意書添付
事業計画書	<ul style="list-style-type: none"> □ 3年後の目標数値を具体的に設定 □ 地域ブランド構築の独自性を強調 □ 段階的な実施計画を詳細に記述
補助事業者の概要	<ul style="list-style-type: none"> □ 商店街の組織体制を明示 □ 過去の活動実績を記載
事業費経費別明細	<ul style="list-style-type: none"> □ 3年間の資金計画を年度別に作成 □ 専門家費用の内訳を明確化

⑩ 申請スケジュール

● 事前準備期間

区市町村との事前協議に1~2ヶ月。専門家との打ち合わせや地域関係者との調整が重要。

● 申請受付

随時受付

各区市町村の商工担当課へ提出。自治体により受付時期が異なるため事前確認必須。

● 審査期間

区市町村による一次審査後、東京都による二次審査。申請から交付決定まで2~3ヶ月程度。

● 交付決定

交付決定通知後に事業開始。伴走アドバイザーの派遣調整を実施。

● 事業実施期間

3年間の伴走支援

年度ごとにサポート会議で評価と助言を受ける。

⑪ 補足事項

- 課題抽出サポート利用後、3年間伴走支援への移行が可能
- 複数商店街による共同申請も認められる

⑫ 問い合わせ

制度詳細	https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/chushou/shoko/chiiki/jyosei/
申請先	各区市町村の商工担当課
お問い合わせ	東京都産業労働局商工部地域産業振興課 〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1 TEL：03-5320-4787
受付時間	月～金曜日（祝日を除く）9:00～17:00